

絶対落ちないテナガザルにあやかった 「絶対落ちないくん」絵馬 について

早いもので、2009年もまもなく終わろうとしています。皆様ますますご活躍のことと存じます。

さて、年末年始を過ぎると、そろそろ受験シーズンに入ります。受験生の前では「落ちる」「すべる」「しくじる」は禁句のようです。もちろん科学的根拠はないのですが。

日本モンキーセンターには動物用ウンテイとしては世界最高、最長のモンキースクランブルがございます。高さ15m、総延長220m、人間ばかりか、サルでも落ちればタダではすみません。

しかし、ここに暮らすフクロテナガザルは本来、東南アジアの熱帯雨林で30～40mの空間で日常の生活をしています。この高さから落下すれば死んでしまいますので、もし落ちる個体が多ければすぐに絶滅してしまいます。逆に申しますと「落ちないから今も生存している」のです。

そこで、「鯛の頭も信心」といい習わされているように、「絶対落ちない」ことを糧に受験生の皆様のみならず、落ちてはいけない方のために、絵馬と絵馬の奉納のお手伝いと場所の提供をいたすことになりました。（宗教法人ではありませんのでご自身で判断いただきたいのですが）

もちろん、絵馬でなくても小さなものでしたら、記念に下げても結構です。（無料）

信じることで本来の力が発揮できるかもしれませんから、そのお手伝いと考えます。

お守り、護符等は固くお断りいたします。ご相談ください。

絵馬は松材など、天候に強く変形しないものを使用し、取り付けは紐ではなく、ナイロンの結束帯を使用し絶対に落ちないようにつけていただきます。絵馬をつり下げるものもステンレスワイヤーを用いますので、安心していただけます。毎日、お祓いやご祈祷はできませんが、その前で絶対落ちないテナガザルたちが見守ってくれるでしょう。

適応例？

- ・各種受験者
 - ・高所で仕事をされる方
 - ・株などを扱う方
 - ・航空機に搭乗される方
 - ・就職活動中の方
 - ・各種セールスをされる方
- など、何でも信じてみようと思われる方に

フクロテナガザル（シャマン） 落ちないくん

・スマトラやインドネシアのごく一部の地域に生息するテナガザル中最大の種で、ワシントン条約付属書 に記載された希少種

- ・喉に大きな袋をもち、動物中、最大級の美しい声でなく
- ・名前にサルとつくが、チンパンジーやゴリラと同様、ヒトに近い類人猿の一種。
- ・モンキースクランブルでは、これまでに 38km/h という信じられない高速でウンテイをわたった。この速度はオリンピック男子 100m 走の金メダリストの記録よりはるかに速い。1m 間隔の握り棒を 4 本おきに、5m 飛びながらウンテイを移動することも
- ・テナガザルは「落ちれば生きていけない」という生活スタイルから、落ちないための特殊な能力を持っている。つかもうとした枝が風で揺らいたり、つかんだ枝が折れることは日常で、常にそれを予測し、2~3 手先まで読んで移動しているとも言われる。

モンキースクランブル

動物用としては世界最大のウンテイと吊り橋を組み合わせた展示施設。

ウンテイ：全長 220m、最大高 15m

吊り橋：全長 100m、平均高 7m

「絶対落ちないくん」絵馬を ビジターセンターにて受付中！（1枚1000円）

ビジターセンターでお申し込みください。代金と引き換えに「絵馬」と「控え券」をお渡しします。絵馬は裏面に願い事を書き、モンキースクランブルに設置してあるワイヤーにお掛けください。

- *この絵馬での祈願成就は保障いたしかねます
- *どの宗教とも関わりはありません
- *およそ半年間掲示しますが、ご希望により早期回収もいたします

特典

合格されましたら、次回入園の際、「控え券」と引き換えに本人様のみ無料で入園できます。祈願成就は自己申告です。

本件に関するお問い合わせは以下へお願いいたします。

〒484-0081 愛知県犬山市犬山官林 26

財団法人日本モンキーセンター

TEL：0568-61-2327 FAX：0568-62-6823

担当：学芸員 赤見理恵、主任学芸員 高野智、園長 加藤章

日本モンキーセンターのホームページ（<http://www.j-monkey.jp>）の「取材等のお問い合わせ」ページより、フォームに従ってご記入の上、送信していただくこともできます。夜間も含め、毎日確認とお答えをさせていただきます。



「絶対落ちない君」絵馬(見本)



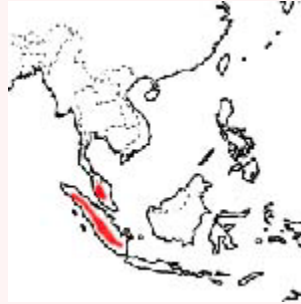
「絶対落ちないくん」たちに見守られる絵馬

シャマン(フクロテナガザル)



英名 Siamang
学名 *Symphalangus syndactylus*
CITES
IUCN LR/nt

分布



スマトラ島およびマレー半島

会える場所

モンキースクランブル(ビッグルー
プ・エコドーム)

- ・ テナガザル類では最大。体重約 10～15kg。
- ・ 非常に長い腕をもち、ブラキエーション(腕渡り)を主要な移動様式とする。
- ・ 葉や果実を主に食べる。
- ・ オス・メスのペアとその子供からなる家族でなわばりをもつ。
- ・ 短い叫び声が連続したグレートコールを発し、なわばりを主張する。
- ・ のどに喉頭嚢(こうとうのう)と呼ばれる袋状の構造があり、これを大きくふくらませて声を響かせる。